



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-7-23

足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)

日本共産党区議団 直通3880-5770

<http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html>



日本共産党区議団の委員会配置

総務委員会	ぬかが和子 浅子けい子	交通網・都市基盤整備調査特別委員会	○伊藤和彦 浅子けい子
区民委員会	大島芳江	公共施設更新・再配置調査特別委員会	○針谷みきお さとう純子
産業環境委員会	伊藤和彦	温暖化対策調査特別委員会	◎橋本ミチ子 ぬかが和子
厚生委員会	針谷みきお 橋本ミチ子	観光振興調査特別委員会	大島芳江 鈴木けんいち
建設委員会	○さとう純子		
文教委員会	○鈴木けんいち		

◎委員長、○副委員長

足立区議会 臨時会

新しい議会の 役職決まる

新たに温暖化対策に関する
特別委員会を設置

伊藤和彦は、産業環境委員会、
交通網・都市基盤整備調査特別委
員会の副委員長になりました

よう機
能的で
公平な
配置は
別表の
とおり
です。

五月二十七日、第一回足立区議会臨時会が開かれ、新しい議会の役職が決まりました。
日本共産党は、議会が貧困と格差の拡大、医療改悪や温暖化対策など焦点の課題にこたえ区民を守る活発な議論ができる
求めました。日本共産党は、温暖化対策調査特別委員会
委員会で委員長、建設、文
属し、交通網・都市

教、交通、公共施設
の各委員会で副
委員長を担当す
ることになりま
した。日本共産党の
八名の議員の委員
配置は別表のとおり
です。
新議長には、くじ
らい光治(自民)、
副議長は、金沢美
子(公明)、各議員が
全会一致で決まりま
した。
私は、新しい議会の
構成の中で区民要求
の副委員長に選任されま
した。

議会運営委員会	鈴木けんいち ぬかが和子
---------	-----------------

私は、新しい議会の
構成の中で区民要求

日本共産党区議団の役員	
区議団長	鈴木けんいち
幹事長	ぬかが和子
政調委員長	針谷みきお
副幹事長	大島芳江
同	伊藤和彦

実現のためがんばります。

区議会第2回定例会はじまる

6 会期は、6月10日～25日 月11日

日本共産党代表質問 橋本ミチ子議員

(水) 午後1時開会 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求め、区長の政治姿勢を問う。地球温暖化防止対策、廃プラスチックのリサイクルを、介護保険制度の見直しについて質問します。

一般代表質問 鈴木けんいち議員

6月12日(木) 午後1時半ごろ 教育行政、障害者福祉について質問します。

本会議の傍聴はだれでもできます。議会の傍聴にお出かけください。問い合わせは共産党控え室へ 電話3880-5770



後期高齢者医療制度

7000件をこえる苦情・問合せ

急ぎよ

区は説明会開催

後期高齢者医療制度が始まって一ヶ月が過ぎました。五月十四日、厚生労働省前には「廃止」と書いた紙を頭に掲げ、年金生活者ら約六百人が要求をぶつけ、国会前でも約四百人が廃止を求めて座り込みなどしました。

全国都道府県医師会のうち六割を超える三十の都道府県が「反対」「慎重」を表明しています。

区役所に問合せ殺到

四月一日から四月三十日の一ヶ月で、区役所には苦情や問合せが殺到しました。直接、区役所の窓口にいらいした方が千七百八十三人(件)、電話は五千三百五十二人(件)と合わせて七千百三十五人(件)に及びます。区が通知をおくったのが約三万五千世帯ですから十五%以上にもなる割合の高さで、これまでにない状況です。

区は説明会開催

苦情や問合せが殺到するなか、足立区高齢医療・年金課は、「未確定の部分や制度の複雑さがありまして高齢者の方々に十分な理解をいただくに至っていない側面がみられる」として、区内十四ヶ所の地域学習センター等を会場に説明会の開催を決めました。

説明会では「保険料や給付内容(受けられる医療)を中心に説明する予定」としてい



ます。説明会は五月十三日から始まっており、

これから開催される会場と日時(別表)をお知らせします。高齢の方に限りませんので、参加してください。

○後期高齢者医療制度 説明会 開催日程○

- 6月2日(月) 10:00~11:30 佐野地域学習センター
- 6月6日(金) 13:30~15:00 鹿浜地域学習センター
- 6月9日(月) 13:30~ 伊興地域学習センター
- 6月12日(木) 10:00~ 保塚地域学習センター
- 6月16日(月) 10:00~ 東和地域学習センター
- 6月20日(金) 13:30~ 江北地域学習センター
- 6月23日(月) 10:00~ 生涯学習センター
- 6月25日(水) 13:30~ 興本地域学習センター
- 6月30日(月) 13:30~ 竹の塚地域学習センター

自立支援の調査報告

生保世帯の大多数は 高齢者と傷病者



本会議場で委員長報告をする伊藤区議

五月二七日の区議会臨時会で、私(伊藤和彦)は、自立支援調査特別委員会の委員長として一年間にわたった委員会の調査報告を行いました。

この委員会は「低所得者層の自立支援、生活保護制度、生活保護の適正実施に関すること」の調査を行い、足立区では平成十八年度の生活保護の開始は一九九三件、廃止は一七六〇件と漸増傾向にあります。過去五年間の推移は廃止件数はほぼ横ばい、開始件数は年々減少の傾向にあります。区の全被保護世帯のうち働く力があると認められるのは約一割程度にすぎません。高齢者や傷病者など対象にならない世帯が大多数を占めています。

ます。区民福祉の向上、最後のセーフティネット(安全の網)といわれる生活保護制度がよりいっそう、厳正に運営されることなど調査研究を進めてきました。

区議会与党は、足立区は生保世帯が多いので減らしたい、自立支援を強化したいの思いがありました。委員会では日本共産党の大島芳江議員は福祉問題のベテランで論戦をリードし奮闘しました。

いま政府は年金、介護、医療とともに生活保護の見直しを「改革」と称して、国や地方の深刻な財政危機を理由に弱者を切り捨てる方向を打ち出しています。生活扶助基準の老齢加算のカット(06年全廃)、母子加算の廃止も言われています。しかし無駄な公共事業や防衛費によって生じた財政危機のつけを生活困窮者に転嫁するのは筋違いではないでしょうか。

国民所得に占める日本の社会保障費の比率は25%、スエーデンの42%、フランス40%と比べても劣っています。生保世帯のことが報道されていますが、困窮者をお突き放して餓死させるような政府や自治体、自国民の命も守れない国は、いったい何のために存在するのでしょうか。

問題は生活保護が「高すぎる」ことではありません。人間として生きる権利を堂々と求め、互いに尊重しあうあたたかい社会を築きたいものです。



竹ノ塚駅東口で後援会のみなさんと朝宣伝(1900回を突破)する伊藤和彦区議 2008年5月12日

こんにちはニュースは八〇〇号にご支援ありがとうございます